

～院長コラム～

『大青竜湯の話』

小青竜湯(しょうせいりゅうとう)という漢方薬があります。
小青竜湯は花粉症で結構有名になってきました。
市販の漢方薬のラインナップにも入っています。
大青竜湯(だいせいりゅうとう)という漢方薬があります。
エキス剤にはないので、2つのエキス剤を一緒に飲むと、ほぼ似たような処方内容になります。
うちでは、高熱のかぜ、インフルエンザ、花粉症で目が真っ赤に腫れる・充血する、などに使っています。
4歳の男子です。
9月2日夜中から39℃の発熱あり。
自宅で麻黄湯(まおうとう)を4回飲んだが、3日朝38.9℃。
外来を受診。来院時37.7℃、食欲、元気なし、水分も少ししか摂れない。
咽頭：発赤著明、その他は特に異常なし。
麻黄湯を飲んで少し汗をかいたが、いつものようにすぐ熱が下がらないため大青竜湯を開始。
実際には、桂枝湯(けいしとう)と麻杏甘石湯(まきょうかんせきとう)の2つを一緒に内服開始。
さらに、元気がなく、ボーっとした表情をしているため五苓散(ごれいさん)の坐薬を使用。
翌朝再診。36.7℃、元気に歩いて診察室に入ってきた。
深夜から解熱してきた、起きてみたらすっかり解熱していたそうです。
お母さんが一言、「この漢方薬、素敵ですね」(先生ではなくて、と付け加えられました)。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2015年10月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

